

黒部市立宇奈月中学校



光をめざして

本校の前身は、昭和29年に創設された宇奈月町立黒部中学校です。昭和50年に愛本地区の生徒の入学・転学とともに宇奈月町立宇奈月中学校と改名され、現在の場所に新校舎が建設されました。平成18年に黒部市との合併により黒部市立宇奈月中学校となって現在に至っています。

部活動が盛んで、過去にはスキー部や女子バレーボール部が全国大会に出場しました。最近では、男女バレーボール部や女子バスケットボール部、アーチェリー部等が活躍しています。また、ボランティア活動も盛んで、特別養護老人ホームの訪問や各種募金活動等にも積極的に参加しています。

宇奈月中学校は、令和元年度末をもって閉校し、桜井中学校との統合により、新たに明峰中学校としてスタートします。宇奈月中学校の良き伝統を受け継ぎ、校歌にある「よごれにくみせず光をめざし」てほしいです。皆さんの活躍を期待しています。

黒部市立桜井中学校



統合による新たな校風を

昭和34年、本校は中部中学校と東部中学校との統合により設立されました。それから61年。閉校となる令和元年度末までに約14,000名の卒業生を輩出し、多くの方々が各界で活躍しておられます。

本校は、富山地方鉄道の荻生駅にほど近い田園地帯にあります。質実な気風があり、生徒は勉強や部活動をはじめとした様々な活動に一生懸命に取り組んでいます。その日々の積み重ねは、生徒たちに良い成長をもたらしています。校訓は「根気 勇気 元気」であり、生徒はこの校訓をもとに自分の生活を振り返り、各自の目標を立て生活を充実させています。

現在の校舎は、平成29年8月に新築されたものです。この校舎を使い、令和2年4月には宇奈月中学校と統合し、明峰中学校として生まれ変わります。これまでの伝統をもとに、新たな校風を築いていきたいと考えています。

